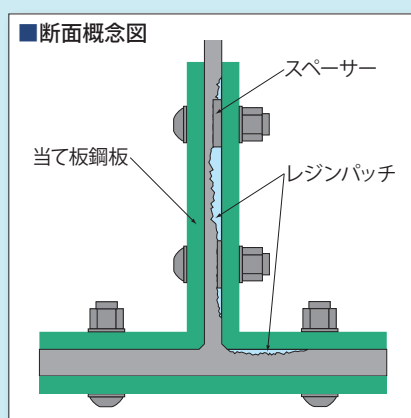
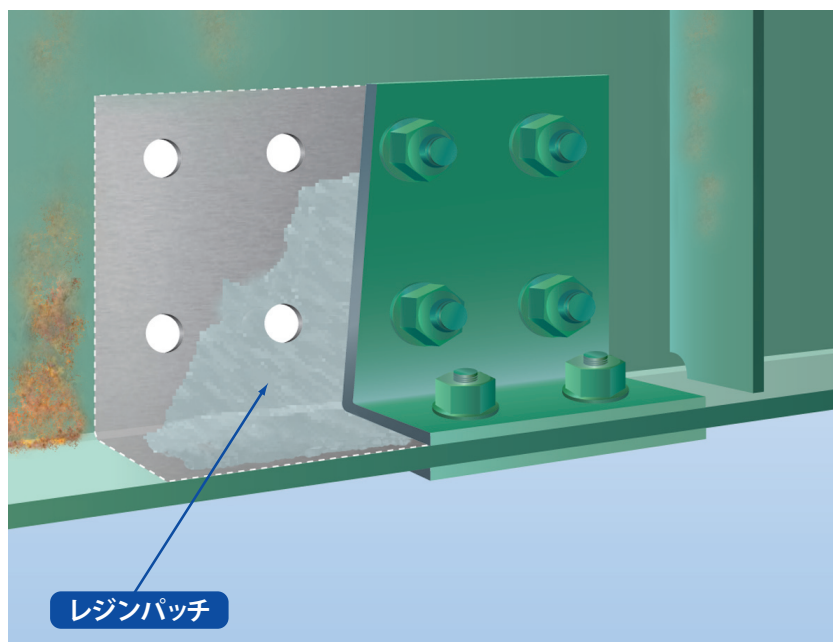




鋼材腐食部当て板補修用
エポキシ樹脂系充填材

レジンパッチ®



ショーボンドマテリアル株式会社

レジンパッチ® 鋼材腐食部当て板補修用エポキシ樹脂系充填材

用 途

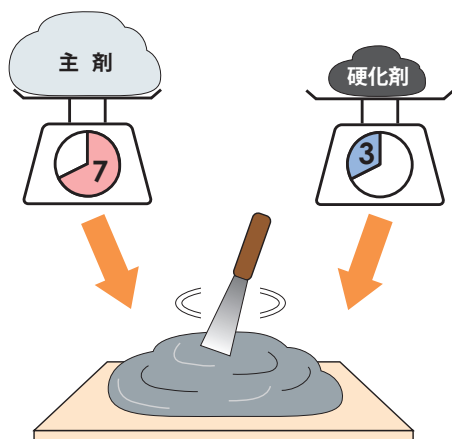
鋼道路橋における腐食部の、当て板補修で用いるエポキシ樹脂充填材。

【特長】

- ①エポキシ樹脂による接着効果が期待できる。
- ②接合面にエポキシ樹脂を介することで、防食効果が期待できる。
- ③溶接による当て板補修に比べ、ボルト施工であるため、作業者の熟練度を問わないことから、高い品質を確保することができる。

使用方法

- ①ショーボンドレジンパッチは、主剤(赤缶)と硬化剤(青缶)に分かれており、使用時に混ぜ合わせます。
- ②主剤と硬化剤の配合は、7:3の重量比割合です。少量使用するときは、必ずハカリで計量してください。
- ③計量した主剤と硬化剤を、練り板の上で均一なグレー色になるまで、金ベラ等で十分に混合させます。
- ④混合すると徐々に硬化を始めます。可使用時間(表参照)を確認のうえ、可使用時間内に使い終わる量を混合してください。



施工方法

①施工条件

施工温度は5℃以上とします。

②表面処理

接合面は、既設鋼板側を2種ケレン相当以上、当て板側を無機ジンクリッチペイントとすることを基本とします。(無機ジンクリッチペイントの塗装膜厚は75~115μとし、適用の際にはこれを超過することのないよう、確実かつ適正な膜厚管理を行う必要があります。)

③接着

接着する面(既設鋼板側)にレジンパッチを塗布し、すぐにボルト接合を行います。

■可使用時間・荷姿

ショーボンドレジンパッチ	冬用 (W)			夏用 (S)		
	5℃	10℃	20℃	15℃	20℃	35℃
可使用時間	80分	80分	60分	70分	60分	20分
荷 姿	10kgセット(主剤/7.0kg 赤角缶、硬化剤/3.0kg 青角缶)					

■社内規格値

試験項目	試験方法	単 位	社内規格値
比重	JIS K 7112	—	1.70 ± 0.10
粘度	垂直ダレ試験	—	ダレ認めず
引張強さ	JIS K 7113	N/mm ²	20以上
引張せん断 接着強さ	JIS K 6850	N/mm ²	11以上

■備考：試験条件は20℃、7日間です。

■製造・販売

ショーボンドマテリアル株式会社

〒350-0833 埼玉県川越市芳野台 2-8-10 TEL.049(225)5611(代表)

<https://www.sb-material.co.jp>

■販売

ショーボンド建設株式会社

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 7-8 TEL. 03(6861)8101(代表)

<http://www.sho-bond.co.jp>

★品質改良のため、製品規格の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

●取扱店